2018.7.23

平成30年度の試験課題予測と市販書籍（A社、B社）との比較一覧表

【2級建築士　平成30年度　設計課題：地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅　（鉄筋コンクリート造「ラーメン構造」3階建て）】

要求図書：1階平面図兼配置図、2階平面図、3回平面図、立面図、断面図、部分詳細図（断面）、面積表、主要構造部材表、計画の要点等

【市販書籍の比較分析結果と、そこから推定する試験課題】

・本内容は、市販書籍（A社：図面5課題、B社：図面3課題）について、敷地、外壁仕様、延べ面積、要求室、外壁仕様で取りまとめた。

・当研究会は、試験元である建築技術教育普及センター（以下、センターという。）が本試験内容を作成する場合、市販書籍の内容をある程度を参考にしながら試験問題を作成しているのではないかと推定している（以下、その理由）。

⇒A社、B社は、毎年、2級建築士の製図課題の予測問題を一般書籍として販売しており、多くの受験者が、この書籍を購入し学習している。

⇒センターが製図課題を作成する場合は、あまりに難しい製図課題にすると、受験者が解答し難くなり、試験そのものの是非が問われかねないという背景も見え隠れする。

⇒その点を解決するには、誰もが見れる市販書籍の内容を、ある程度加味することは有効な手段と判断できる。

⇒つまり、センターは、この市販書籍の内容を完璧に把握して、ある程度を考慮しながら一部類似させながら試験問題を作成していると推定する。

⇒なお、センターが参考とする資料は、平等性の観点から市販資料のみであり、資格学校内の課題は含まれないと推定する（入手困難性もあり）。

・上記を踏まえ、ここでは、市販書籍（A社、B社）の予測課題（8予測課題）を各項目別に分析し一覧表に取りまとめた。 ⇒徹底的な現状把握

・当研究会は、A社、B社の分析を踏まえ、それに過去問（H24～H29）の項目別分析と研究会の予測検討を加味して、80%以上ずばり的中を目指した1点予測をまとめる （⇒H29の研究会1点予測課題は、ほぼ80%以上的中した⇒無料講座の検証結果参照）。

表1　本試験課題と各社事前課題との要求室等の比較

は本試験で採用されると研究会が推定する類似項目

	課題名	敷地							住宅部門	延べ面積	要求室（カフェ部分）									
		規模	横	縦	方位条件				以下	以上、以下	1階									
		（㎡）	（m）	（m）	東	西	南	北	（㎡）	（㎡）	客席	厨房	便所	洗面所	更衣室	通用口	倉庫	展示コーナ	焙煎コーナ	授乳室
試験課題	研究会予測																			
A社書籍	課題①								200㎡以下	230㎡以上、300㎡以下										
	課題②								200㎡以下	250㎡以上、300㎡以下										
	課題③								200㎡以下	270㎡以上、300㎡以下										
	課題④								200㎡以下	240㎡以上、300㎡以下										
	課題⑤								200㎡以下	260㎡以上、300㎡以下										
B社書籍	課題Ⅰ								200㎡以下	270㎡以上、300㎡以下										
	課題Ⅱ								―	260㎡以上、300㎡以下										
	課題Ⅲ								200㎡以下	220㎡以上、260㎡以下										

	課題名	要求室（住宅部分）														屋外施設				
		1階	2階						3階							屋外	ルーフ	イベント	駐車	駐輪
		玄関	LDK	親夫婦寝室	洗面室	浴室	便所	和室	納戸	LDK	子夫婦寝室	子供室	洗面室	浴室	便所	納戸	カフェテラス	バルコニー	広場	（台）	（台）
試験課題	研究会予測																				
A社書籍	課題①																				
	課題②																				
	課題③																				
	課題④																				
	課題⑤																				
B社書籍	課題Ⅰ																				
	課題Ⅱ																				
	課題Ⅲ																				

本内容は、会員講座内での公開としている。